

東アジア文化交流使について

1. 目的・趣旨

平成26年11月に開催された第6回日中韓文化大臣会合において、日中韓3か国の文化交流を促進するために、日中韓各国が自国の芸術家・文化人等を「東アジア文化交流使」として一定期間派遣し、実演やワークショップ等を通じて自国の文化を広く紹介していくことを決定。

本事業を通じて相互の文化への理解を深化させるとともに、芸術家・文化人等のネットワークの形成・強化を図る。

2. 内容

- ・伝統文化から現代文化まで多様な分野の中堅・若手の芸術家・文化人等を、中国、韓国を中心とする東アジア諸国（1か国又は複数国）に派遣し、専門分野に関する実演、実技指導、講演、上映・展示、情報交換等の活動を実施する。
- ・派遣期間は原則として2週間程度とし、派遣者は1週間に2回以上の活動を行う。

【参考】過去2年間の派遣実績

氏 名	プロフィール	活動国	活動内容
平成28年度			
長田 育恵	劇作家／「演劇ユニットてがみ座」主宰	韓国	ソウル等において、今後の新作や共同制作に向けた現地演劇関係者との意見交換や調査等を実施
笹本 晃	アーティスト	中国	上海ビエンナーレへの参加に合わせてレクチャー等を実施
蓮沼 執太	音楽家	中国	北京等において、展示やライブ等を実施
久門 剛史	美術作家	中国	上海当代美術館で開催される個展に合わせてレクチャー等を実施
宝生 和英	宝生流能楽師 第20代宗家	中国	香港等において、能に関するレクチャーやワークショップ等を実施
村川 拓也	演出家	中国	北京等において、今後の共同制作に向けた現地演劇関係者との意見交換や調査、ワークショップ等を実施
平成27年度			
楠木 早紀	競技かるた永世クイーン	中国	かるた・百人一首に関する指導やデモンストレーションを実施
やなぎ みわ	美術作家・舞台演出家	中国	現地アーティストと将来の共同制作に向けた情報交換・トークイベント等を実施
スズキ 拓朗	演出家・振付家・ダンサー	韓国	現地ダンサーとの共同制作・ワークショップを実施

3. 指名手続

東アジア文化交流使は、独立行政法人国際交流基金や文化交流使事業委員会（※）の助言を受け、文化庁長官によって指名される。

※「文化交流使事業委員会」は、文化交流使事業の適正・効率的な執行を担保するため、文化庁長官の下に置かれる委員会で、関係行政機関、学識経験者等から構成される。